

「時間（じかん）」と「（時計）とけい」のおはなし

（保護者が読んで、話してあげてください）

「1日は24時間」と決まっています。

なぜ、そう決まっているのか、ここでは説明しません。

大昔のエライ人や頭のいい人が、「これが便利だから」と言って決めました。

今はそういうものだと思っていてください。

おおきくなったら、わかるようになってきます。



でも、「じかん」ってなんだろう？

朝、起きる時間

学校へ行く時間

お昼ごはんの時間

テレビ番組の時間



いろいろな時間があります。

ちょっと考えてみましょう。

学校のお友達はみんな、何で、同じときに学校にこられるのでしょうか？

「行く時間が決まっているから」まぁ、正解です。

たぶん、朝の「8じ5ふん」までに学校に行かないといけませんよね？

お母さんに「はやくしなさい！何時だと思ってるの！」って言われていませんか？

きっと、お友達の何人かは、お母さんに同じことを、同じときに、言われていることでしょう。

自分の家の時計を見てください。

針が数字を指していますね？

その同じときに、

お友達の家の時計も、同じ数字を指しています。

自分の家の時計を、お友達の家にもっていって、見比べたらどうでしょう？

きっと同じ数字を指しているはずです。

学校の時計も、同じ数字を指しています。

テレビの時計も、同じ数字を指しています。

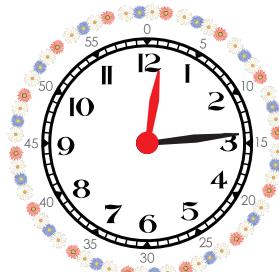
どこの時計も同じ数字、同じ時間を指しているから、

みんながみんな、同じ「8じ5ふん」につくように、学校にこられるのです。

「時計」って、すごいですね

時計は、今 なんじか知ることができます。

時計は、「あと30ぶんで、学校がはじまる！」ことも知ることができます。



時計があるから「4じに〇〇くんとあそぶ約束した！」

なんてこともできるわけです。

朝、学校に遅刻しないためにも、

友達とあそぶ約束をするためにも、

「とけいのよみかた」を勉強しましょう